

1 人権教育部会		部会テーマ	日々の教育活動に生かす人権教育の実践
内 容	人権教育の推進に当たっては、人権が尊重された雰囲気や環境を基盤に、学習者の豊かな人間性を育み、人権意識を高めていくことが大切である。本部会では、人権が尊重される社会の実現に向け、学校教育や社会教育において実践された事例からその成果や課題を確認し、これからの人権教育推進の方向性について考える。		
部 会 担 当	宇賀神 孝文 (総合教育センター)	指導助言者	中山 孝志 (県教委事務局教育政策課人権教育室)

※ 時刻はおよその目安です。予定時刻通りにならない場合もありますことを御了承願います。

発表①

自律心と他者に配慮する心を育成する人権教育

9時55分～10時15分

県立小山高等学校 西村 陽子

本校では、令和5年度に人権教育研究学校として栃木県教育委員会から指定を受け、2年間、生徒の「自律心」「他者に配慮する心」を育成するための研究に取り組んできた。その実践内容や成果について紹介する。

発表②

人権感覚を高める研修と授業の実践

～アンコンシャス・バイアスに着目して～

10時15分～10時35分

鹿沼市立粕尾小学校 斉藤 彩水

「固定的な性別役割分担意識」のもとにある意識的・無意識的な偏見や思い込み(アンコンシャス・バイアス)は子どもの頃からの経験や周囲の影響が大きいと考えられる。そこで、小学校における「性別役割分担意識」を題材とした教職員研修や授業実践について研究した。その実践内容や成果について発表する。

発表③

自他共に認め合い、自己肯定感を高める人権教育の推進

～学校・家庭・地域の連携を通して～

10時40分～11時00分

さくら市教育委員会事務局生涯学習課 高瀬 亮

本市では、令和5・6年度に文部科学省から人権教育総合推進地域事業の指定を受け、喜連川中学校区を推進地域として、学校・家庭・地域が一体となって人権教育を推進してきた。その実践内容や成果について発表する。

質疑・感想紹介

11時00分～11時10分

指導助言

11時10分～11時30分

県教委事務局教育政策課人権教育室 中山孝志